

N-NOSE よくある質問

▼人間ドックや他のがん検査(腫瘍マーカー)との違いは何ですか。

⇒愛三健保で補助対象の人間ドックのがん検査は6種類(肺・胃・大腸・乳・子宮頸・前立腺)です。一方N-NOSEは15種類のがんに線虫が反応することが分かっていますが、がん種の特定ができない点と、あくまでもり患リスク判定なので、り患が確定する検査ではない点が異なります。

腫瘍マーカーはステージが0、1の時など、早期がんの発見には効力が発揮しにくいと言われていますが、N-NOSEは低いステージでも下記の感度で検知が可能です。

- ◆感度(がん患者をがんと判定する確率)…86.3% ≡偽陰性13.7%
- ◆特異度(健康な人を健康と判定する確率)…90% ≡擬陽性10%

▼検査結果で高リスクとなった時はどうしたらいいか、どういうサポート体制があるか。

⇒A～Eの5段階で判定されますが、D・E判定の場合は、「N-NOSE安心アフターサービス」が無料で利用可能となっています。既存の病歴等の問診、検査結果の説明、次の検査に関する情報提供、健診の予約代行、医療機関等への相談に向けたアドバイスなど、不安な気持ちを取り除くためのサービスで、何回でも使用できます。

▼人間ドック先で一緒にやることはできないか。

⇒医療機関の追加オプション等で用意されていれば実施できますが、その場合は健保補助の対象外になります。

▼この検査で高リスクが出たとしても、健康相談室や産業医に伝える必要はないか。

⇒検査結果はご本人のみに通知され、健保や会社に情報が伝わる事はありません。「N-NOSE安心アフターサービス」をご利用ください。

▼生理中は検査を避けた方がいいとなっているが、回収日と重なった場合はどうするか。

⇒予想がつく場合は、生理になる前に採尿していただき、冷凍保存した上で提出日に持ってきてください。1週間程度であれば冷凍保存していただいて問題ありません。それが不可能だった場合は、別日での提出や薬局等の指定場所や自宅回収にてご提出をお願いします。

▼高リスク時、がん検査(PET-CT、DWIBS(ドゥイブス)等)を行なう際、健康保険適用になるか。

⇒上記の全身のがん検査や5大がん検査、人間ドック・腫瘍マーカー等も自費診療になります。その検査で異常個所があり医師の判断では、その後の検査は保険適用になる場合があります。特に疑わしい部位がない場合は自費診療です。

※人間ドックは健保の募集期間での申し込ただければ健保補助があります

N-NOSEのホームページ上でも様々なQ&Aが掲載されていますので、ご不安がある方はそちらもご確認ください。

<https://lp.n-nose.com/> (ページ内右上のメニューから)

